



飯地小学校だより
令和7年度 第5号
令和7年7月18日



飯地小学校 HPへ

夢をもち、懸命に生きる子 ~進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子~

夢中に出会える夏休みに

校長 下畑 茂

◇1学期を振り返って まだまだ道半ば

梅雨明け宣言と共に、飯地町にも猛烈な暑さがやってきました。プールからは子ども達のにぎやかな声が聞こえてきます。今年から深いプールに入った3年生。「検定合格したよ」と自分の頑張りを誇らしげに語ってくれました。

72日間の一学期が終わります。一人ひとりが「なりたい自分」を掲げて取組んで来ました。一学期を振り返って、自信をもって「よくできた」と解答した割合は次の様です。

| | |
|-------------------|-----------|
| ◇やってみよう(自分から挑戦) | 68% (11人) |
| ◇何とかなる(仲間と支え合う) | 56% (7人) |
| ◇自分らしく(係、仕事をやりきる) | 56% (7人) |
| ◇ありがとう(感謝を言葉、行動に) | 75% (12人) |

1年生は朝活動、休み時間も一輪車練習に励み、検定で級を伸ばしてきました。その陰には、そっと手を添え支える6年生の姿がありました。掃除や畑の作業、花壇整備では、上級生が下級生に優しく教える姿も見られました。

全校集会、夢プロジェクト等の行事の後には自分の言葉で感想を語り、「ありがとうございます」と伝えられる人も増えてきました。この振り返りで残りの人は「できた」と解答しています。しかし「一人でも大丈夫」と自信をもって言えるには至っていません。この結果を踏まえ「なりたい自分になれる自分」を目指し2学期の学校生活では、私は何にこだわっていくか。夏休み明けに教えてください。

◇ぼくは「夢」が見つかりません。「だったら…」

中津川市では夏休みに理科好きの中学生を対象とした「岐阜サマー・サイエンス・スクール」が行われ今年で30周年を迎えます。講師は日本の科学の最先端の研究をされている方々です。特別講師として青色LEDの研究で、ノーベル賞を受賞された天野浩博士が講演をされた時のことです。「夢が見つからない」と語った中学生。天野先生は「あなたはこれまで夢中になった事がありますか。時間をかけても苦にならず、集中して取組めることは?」と問いかけました。彼は答えました。「プラモデル作りです」「夢中になれる経験があれば大丈夫ですよ。それはあなたの夢を叶えていく力になりますよ」と答えられました…。時は流れ、彼は今、天野先生と同じ大学で学んでいます。

明日から夏休みを迎えます。普段の学校生活では経験できないことにたっぷり時間を使える時です。学校では先生と一緒に計画を立てましたが、まだ余白がある人。恵那市には「こどもフェスタ」という様々な実験・工作が体験できる機会もあります。(詳細は資料をご覧ください)

オリンピックの金メダルは誰かと競い合ってナンバー1の人が。ノーベル賞のメダルは、それまで世の中の誰も成し得なかった、オンリーワンの閃き、発見・発明をした人に与えられます。あなたを夢中にさせる何かと出会える。そんな夏休みを過ごせることを先生たちは願っています。

飯地小学校運営協議会コーナー 第2回学校運営協議会開催・給食試食会 7月8日(火)

~地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』~

第2回の学校運営協議会にて、4月からの学校と地域の取組みを交流しました。様々な場面でいいじっ子サポーターの方に子ども達の学びを支えていただいています。通学路の安全点検ではPTAが飯地町振興事務所と共に。学校農園ではジャガイモ、サツマイモ、こんにゃく芋、里芋の栽培や収穫の指導を。壮健クラブの方々には花壇整備。また運動会に向けて8月の環境整備作業にてお力添えをいただきます。「ふるさと学習」では低学年は、まちづくり委員会の方より特産品について学びました。飯地の町が活性化しているために自分たちができることを考えました。交流後に会長の平井一兵さんより「皆さんに一つお願いがあります。大人になっても飯地町の伝統食である特産品を守り続けていってください」とのメッセージを受け取りました。

6年生は、飯地太鼓保存会の方より太鼓の指導を受けています。夏休み8月、飯地高原納涼祭でお披露目することを目標にして練習に励んでいます。子ども歌舞伎も春に続き、秋にも11名の参加希望者があり、準備を始めていきます。様々な立場の方が、年齢も幅広く、まさに地域ぐるみで学校教育に携わっていただいていることが見えてきます。学校は、子ども達を育てると共に、地域交流のパイプとしての役割を担っていることを日々感じております。今学期も教育活動へのご協力、ありがとうございました。

